

「日本・カンボジア国際消防防災フォーラム」の開催

参事官付

1 はじめに

アジア諸国においては、経済発展や都市化が進展しており、国民の生命・財産や都市の重要インフラ等を火災や自然災害から守るため、消防防災体制を拡充する必要性が高まっています。このような中で、人命救助や消火の技術や、火災予防制度について、我が国の消防から技術指導を受けたいという要望が増大しています。

こうした状況を踏まえ、消防庁では、我が国の消防防災技術・制度・体制等をアジア諸国に広く紹介する国際消防防災フォーラムを平成19年度から毎年開催しています。



【日本・カンボジア国際消防防災フォーラム】

本年度は、9月3日、4日にカンボジア王国プノンペン市において、同国内務省国家警察局との共催により「日本・カンボジア国際消防防災フォーラム」を開催しました。

2 フォーラムの概要

フォーラムでは、隈丸優次在カンボジア日本大使及びSar Kheng副首相兼内務大臣の挨拶に続き、消防庁を代表して北崎秀一審議官より挨拶と発表が行われました。日本側から3テーマ、カンボジア側から4テーマが発表され、その後、活発な意見交換が行われました。

日本側が消防力の強化、都市化における防火安全対策や消防職員の人材育成について説明を行ったところ、防火管理や消防大学のカリキュラムに関する質問があり、参加者は回答に熱心に耳を傾けていました。また、

消防力の整備指針について非常に参考になったとの感想を複数回聞く機会がありました。

また、昨年のフォーラムに引き続き、我が国の消防関係企業の方々（10社20名）にご参加いただき、製品の展示や紹介を行いました。カンボジア側の参加者は、質と性能の良い日本製品を手に取り、熱心に説明を聞くなど関心の高さが窺えました。



【会場内の様子】



【日本企業による製品紹介】

3 おわりに

カンボジアでは、今後、経済成長と都市化が急速に進展していく中で、火災予防を含む消防力の強化がますます重要になっていくものと思います。今回のフォーラムの成果が、そのための一助となることを期待しています。

発表テーマ

【日本側】

- 日本の消防概況と消防力の強化
- 消防職員の人材育成
- 都市化における防火安全対策

【カンボジア側】

- カンボジアにおける災害リスクマネジメントの現状
- カンボジアにおける火災管理
- カンボジアの消防分野における人材育成
- カンボジアにおける防火と消防システム

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 下村
TEL: 03-5253-7507